

4 検査はどんな服装で受ければいいの？

金属がついていると画質に悪影響がありますので、はずしてください。

頭部検査では

ヘアピン、ピアス、など

胸部検査では

ネックレス、ブラジャー、など

腹部検査では

ベルト、ズボンのファスナー、など

5 検査料金の目安はどのくらい？

CTの検査料は、どの部位を撮影しても、約4,500円です。(3割負担の場合)

6 CTとMRIはどう違うの？

CTは全身的な病気の有無を確認するには適していますが、頭蓋骨が複雑に入り組んでいる脳の検査は苦手です。大きな外傷や出血性疾患を疑ったときにはCTを、脳梗塞や脳腫瘍その他の病気を疑ったときはMRIを行うことが一般的です。

	CT	MRI
撮影の仕方	エックス線を利用して、体内の断層像を作成	強い磁石と電波を利用して、体内の断層像を作成
断層像の方向	横方向が基本	横方向、縦方向、斜め方向
撮影の仕方	装置の穴の中を通りながら、呼吸を止めて撮影	装置のトンネルの筒の中に入って、動かないようにリラックスして撮影
被ばく	ある (エックス線を利用)	ない (磁力を利用)
撮影時間	短い (頭部の場合 約1分)	長い (頭部の場合 約20分)
利用される検診	肺がん検診、内臓脂肪計測	脳ドック
検査できる病気	肺や腹部の内臓疾患、骨折、脳内出血など	脳梗塞、腰椎ヘルニア、靭帯損傷など

7 受けましょう! 内臓脂肪計測

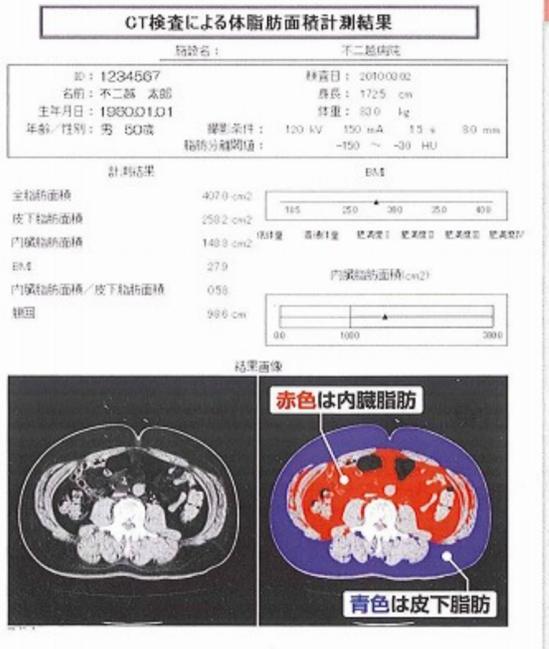
内臓脂肪計測は、おへその位置を1回撮影する検査(時間1.5秒)で、簡単に受けられます。自分のお腹の脂肪が一目瞭然なので、生活改善のモチベーションに効果的です。結果表を目に付きやすい所(冷蔵庫の扉など)に貼れば、毎日「がんばるぞー」というやる気ができます。努力して半年から

1年後に検査を受ければ、脂肪の減少がはっきりわかります。メタボ改善に役立てましょう!!

内臓脂肪検査を受けたい方は、不二越病院健診センターにご相談下さい。

(検査費用は、3,675円です。)

結果表はお渡しします



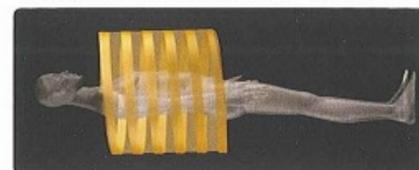
不二越病院では、2010年3月よりCT装置を更新し、16列のマルチスライスCT(MDCT)を導入、現在稼動しています。



今回は、新しく導入した16列マルチスライス(MDCT)の紹介をします。

1 CTってどんな検査?

CT(コンピューター断層撮影)検査とは、向かい合った検出器とエックス線管球が、身体の周りを回転しながらエックス線を照射して、通過した量の違いをコンピューター処理し、身体の輪切りの断層像を作成する検査のことです。



胸部や腹部の精密検査、骨折の詳細検査、特に脳内出血など一刻を争う症状の際に、威力を発揮します。

2 以前のCTと何が違うの?

以前のCTと比べ、0.5~1.0mmの薄切りの断層像でデータの収集をすることができ、いろいろな角度からみた断層像や、3D画像を作成できます。これにより、病変の位置関係等のよりわかりやすい画像を撮影することができます。

	以前のCT	新しいMDCT
検出器の数 (身体を通過したX線を 受け取る機器の数)	1列 シングルスライス 1回転で1断面の断層像	16列 16列マルチスライス 1回転で16断面の断層像
撮影時間	25~30秒	10~15秒
画質 (スライス幅が薄いほど鮮明)	(10mmスライス幅)	高画質(1mmスライス幅)
被ばく線量 (1回の検査当り)	約9~10mSv*	約5~7mSv* (最適なX線選択機能で、 最大50%低減)

*放射線量の単位: ちなみに、自然界から受ける放射線の量は、2~3mSv/年です。

3 造影CT検査はどんな場合にするの?

造影剤を使用して検査する造影CT検査は、医師が診断上必要と判断した場合に行います。血管や臓器内の病気がより明確に把握できるため、多くの場合、腹部や血管病変などに行います。



不二越病院 放射線科 技師長
水野 千加子